

特集

不登校30万人、「多様化学校」受け皿に

本誌調査

数年で2倍の約50校へ

6

2	富山和彦の直言	42	DXを生かす自治体経営 古見 彰里氏 標準化は住民生活向上の手段
4	ニュース&インサイド 東京五輪レガシー「晴海フラッグ」入居始まる	44	巨大災害を縮災する―相転移化を防ぐには 河田 恵昭氏 能登半島地震から学ぶべきこと
5	霞が関 底流伏流 (スポーツ庁) スポーツを使ったまちづくり	46	居場所とウェルビーイング 湯浅 誠氏 居場所情報を包括的に「可視化」
18	グローバルインタビュー WEリーグチェア 高田 春奈氏	48	人手不足時代の公務員人事管理 上林 陽治氏 定員抑制と非正規依存が招いた職員の自死
21	企業支援の新潮流 小出 宗昭氏 地域で知恵を出し合い路線バスの課題を解決	50	日本の人口減～北欧から考える 茂木 良平氏 少子化対策、自治体ごとに設計を
22	フォーカス 公共トイレ確保へ各自治体が知恵絞る	52	議長に聞く 佐賀県議会議長 大場 芳博氏
26	レポート 山城ブームで地味な遺構にも脚光	53	ニュース・ウォッチング
28	レポート 全国首長調査から 専門職・会計年度任用職員の不足	58	Book Review/バックステージ
32	地方自治を考える 編集委員 谷 隆徳 能登半島地震受け全国から職員派遣		
34	地方創生の旗手 La Union代表社員 伊藤 篤史氏		
36	公民で作る社会体験学習 日本総合研究所 独自の実証実験を静岡県富士市に提案		
38	「地域のリアル」Uターン村長の8年 小林 豊彦氏 新型コロナ、県内最速でワクチン接種		
40	正しいPPP/PFIの進め方 寺沢 弘樹氏 能登半島地震の被災地で民間も力		



〈表紙の写真〉進む不登校対策、「通いたくなる学校」目指す

不登校の対策は各地で進んでいる。とりわけ成果を上げているのが、授業や校則を見直して、子どもが通いやすい学校をつくる動きだ。不登校の発生が減った例もある。

東京都国立市の中学校では授業に積極的に参加するよう発言を促したり、生徒本人に探究をさせたりする授業を始めた。岐阜県美濃市の小学校では児童の意見を反映し、休み時

間を伸ばすなどした (写真上)。

いずれもキーワードは「子どもの主体性」だ。子どもが通いたくなる学校を、子どもとともに作る取り組みが始まっている。(文=荒木 望)